

学習課題(小学校3年生)

【音楽】

<学習内容>

◆リコーダー「ミ」「ファ」のゆびのおさえ方（^{うんし}運指）をおぼえて、『山のポルカ』をえんそうしましょう。（教科書 44～45 ページ）



※参考動画 http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shido/gakushuukadai_shou3.html

(1) 教科書 44～45 ページで「ミ」「ファ」の^お押さえ方をたしかめて、45 ページにある『^{れんしゅう}練習』をえんそうしましょう。

※「ミ」「ファ」のようにひくい音をふくときは、「^{トオ}to」と言うようにして、やわらかい息を出します。（これまでは、「^{トゥ}tu」と言っていましたね。）

※右上 QR コードから、『練習』のえんそうの様子を^{かくにん}確認できます。

(2) 『山のポルカ』をきいて曲の感じをつかみましょう。

※右上 QR コードから^{はんそう}範奏をきくことができます。

※曲の感じをつかんだら、せんりつのリズムを手で打ったり、ドレミ（^{かいめい}階名）で歌ってみたりしましょう。

(3) 『山のポルカ』を^{うんし}運指や音色に気を付けて、リコーダーでえんそうしましょう。

※えんそうの様子は^{どうが}動画でも^{かくにん}確認できます。

(4) せんりつの感じに合うように、^{くふう}工夫してえんそうしましょう。

※「ポルカ」とは、^{かる}軽やかなおどりの音楽です。どのようなおどりのかを考えて、そのイメージに合うようにえんそうの^く仕方を^く工夫^{ふう}しましょう。

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

- ・「ミ」「ファ」の音が新出の運指です。特に、「ファ」の運指は、ジャーマン式とバロック式とで異なるので、お子さんがどちらのリコーダーを使用しているのかを確認してください。
- ・「ミ」「ファ」のように低い音は、裏返ってしまうことがあります。教科書 45 ページの例示を参考に、タンギングや息の強さを意識できるようにします。
- ・8分音符を中心とした軽やかなリズムの旋律です。タンギングや息の強さ、息のスピードなどの演奏の仕方について試しながら、曲想に合った演奏を工夫できるようにします。